

渡 辺 先 生 略 歴

- 1904年9月2日 東京都麴町区上六番町に生る
- 1917年3月 東京九段，富士見小学校卒業
- 1922年3月 東京神田，開成中学校卒業
- 1925年3月 第二高等学校理科甲類卒業
- 1928年3月 東京帝国大学理学部地理学科卒業
- 1928年4月 東京帝国大学理学部副手（1933年3月まで）
日本大学講師（1944年3月まで）
- 1929年6月 東京府立第一中学校教諭嘱託（1929年10月まで）
- 1929年10月～
1931年3月 米国ミシガン大学研究員（フェロー）として留学
- 1933年12月 陸軍教授，陸軍士官学校教官
- 1935年2月～3月 満州国視察
- 1936年4月 法政大学講師（現在に至る）
- 1937年4月 明治大学講師（現在に至る）
- 1939年 日本地理学会常務評議員となる
- 1941年9月～12月 華北，華中，華南，海南島，蒙古を視察
- 1942年4月～5月 第一次山西学術調査に参加
- 1942年7月 文部省図書監修官
- 1946年4月 内務技官，地理調査所企画課長
- 1948年7月 地理調査所地図部長
- 1949年5月 東京地学協会主幹理事（1965年5月まで）
- 1950年2月 地理委員会を組織，本部長となる。（1952年2月まで）資源調査会専門
委員
- 1952年7月～10月 第17回国際地理学会議（ワシントン），第7回国際写真測量会議に日本代
表として出席。
- 1953年9月 東京大学より理学博士の学位を受く
- 1956年～1957年 日本地理学会編集委員
- 1956年10月 お茶の水女子大学講師（1957年3月まで）
- 1957年8月～9月 国際地理学連合，日本地域会議幹事
- 1957年11月～
12月 第9回太平洋学術会議（バンコク）に出席
- 1958年～1959年 日本地理学会常任委員長

- 1958年8月 お茶の水女子大学教授（文教育学部）
- 1959年8月 第14回九学会連合総合調査に参加（佐渡委員会調査隊長）
- 1960年1月～2月 第5期日本学術会議地理学研究連絡委員長
- 1960年8月 国際地理学連合第10回総会（ストックホルム）、第19回国際地理学会議に日本国首席代表として出席、北欧各国、エジプト等を視察。
- 1961年8月～9月 第10回太平洋会議（ホノルル）に出席。
- 1962年4月 国際地理学連合、東南アジア地域会議（クアラルンプール）に日本学術会議代表として出席
- 1962年～1963年 日本地理学会常任委員長
- 1963年2月 日本学会会議、第6期第4部会員
- 1964年2月 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所設立準備委員
- 1964年7月 国際地理学連合第11回総会（ロンドン）、第20回国際地理学会議及び、国際地図学会第2回総会に日本代表として出席
- 1964年12月～
1965年4月 ミシガン大学研究員として、米国及びメキシコへ出張
- 1965年 第11回太平洋学術会議中央組織委員会幹事
- 1965年5月 地学協会評議員（現在に至る）
- 1965年10月 お茶の水女子大学文教育学部長及び評議員に併任（1967年9月まで）
- 1966年2月 日本学術会議第7期会員
- 1966年4月～
1967年9月 お茶の水女子大学大学院人文科学研究科長
- 1966年4月 お茶の水女子大学大学院委員会委員（現在に至る）
- 1966年8月 第11回太平洋学術会議（東京）の運営にあたる
- 1966年8月 太平洋学術協会地理学常置委員会委員長（1971年まで）
- 1968年9月 お茶の水女子大学紀要編集委員会委員長（現在に至る）
- 1968年12月 国際地理学連合第12回総会（ニューデリー）、第21回国際地理学会議、及び第3回国際地図学会総会に、日本国代表として出席
- 1969年5月 太平洋学術協会第1回中間会議（クアラルンプール）に、地理学常置委員会委員長として出席
- 1969年11月 日本地理学会会長に選出される
- 1970年3月 お茶の水女子大学を停年退官

渡辺先生著作目録

論文

発表年	題名	掲載誌名	巻	巻
1927	日本群島に於ける火山の分布並に地形学的火山群の設定(今泉政吉と共著)	地理評	3	467-489, 582-599 781-794, 951-966
1928	奥尻島の海成段丘とその交代的傾斜運動	"	4	298-309
1929	本邦の隆起三角州に関する考察	"	5	1-15
"	房総半島南部の海岸段丘(予報)	"	"	119-126
1930	赤石山系南部の地形と地形発達	"	6	727-750
1931	北海道地形誌概報	"	7	901-919
1931	合衆国東北部に見出される氷期以後の断層(雑録)	"	7	1086-1088
1932	Landforms of Japan(R.B Hallと共著)	The Michigan Academy of Science, Art and Letters	18	157-207
"	The Geomorphology of the Coastal District of South-eastern Sikoku: A Contribution to the Knowledge of the Recent Crustal Movement of the Area under Discussion	The Bulletin of the Earthquake Research Inst: Tokyo Imperial Univ.	10	209-234
1933	北米合衆国ケンタッキー州東南一部の地形	地理評	9	20-36
"	景観発達と景観分析(上)(中)(下)	地理教育	17	361-367, 479-482 595-600
1933~ 34	北米の地誌(一)~(九)	"	19, 20	319-325, 429-435 537-543, 650-656 101-107, 221-227 341-347, 461-467 581-587, 701-709
1935~ 36	メキシコと中央アメリカの地誌(一)~(六)	"	23, 24	582-588, 704-710 103-109, 224-230 345-349, 460-467
1936	北見沿岸の海岸地形	地理評	12	1153
"	北太平洋沿岸地帯の地理	地理教育	24	712-729
1938	Piedmont Benchlands of the KITAMI Mountainland, Northeastern Hokkaido	Comptes Rendus du Congress International de Geographie Amsterdam	5	198-204
"	北支那の地形	地理教育	28	490-516
1939	北海道の沿岸地帯の地形に関する若干の考察(其1) -北見沿岸の対置海岸線-	地学雑	51	175-180
"	外南洋の珊瑚礁	地理教育	30	649-661
1940	日本の沈水海岸線の特徴	"	32	10-19
1942	中南支那東部の地形	地学雑	54	129-143
1948	四国南部の海岸地形とその地盤運動に対する意義	地理調報	1	37-72

発表年	題 名	掲載誌名	巻	頁
1950	Landform Divisions of Japan	Bulletin of the G. S.I.	2	81-94
1952	Landform Divisions of Japan	Proceedings 8th General Assembly 18th Congress I.G.U. Washington		598-607
1952	日本の地形区	地 学 雑	61	1-7
1957	Land Use Survey and Land Classification Survey in Japan	Proceedings of the 9th Pacific Science Congress of the P.S.A.		41
"	Geomorphology in Relation to Recent Crustal Movements in Japan	Proceedings I.G.U. Regional Conference in Japan		215-221
"	日本の主要海岸区	地 学 雑	66	1-16
"	地形と地盤運動との関連について	地 理 評	30	764
1958	海岸地形に関する問題点	地 理	3	67-76
"	200万分の1土地分類図	地理調査所		
1961	日本の海岸段丘と海岸平野の性質とその形成に関する考察	辻村太郎先生古稀記念地理学論文集		132-144
1962	地域区分について	地 理	7	599-603
1964	Coastal Terraces of the Japanese Islands	Abstract of Papers the 20th I.G.C. London		116
1966	Regional Divisions of Japan	37,38年度科研費(総合研究)研究報告書		41-69
1967	Coastal Terraces of the Japanese Islands	Ochanomizu Univ. Studies in Arts and Culture	20	1-21
1969	A Comparative Study on the Patterns of Land Use on Terrace Uplands in the Coastal Districts of Japan	Ochanomizu Univ. Studies in Arts and Culture	22	83-93
1969	Present Status of Land Use Survey and Land Use Studies in Japan	Ochanomizu Univ. Studies in Arts and Culture	22	95-98
1970	Regional Divisions of Japan	Ochanomizu Univ. Studies in Arts and Culture	23	1-36

編 著 書

刊 行 年	書 名	出 版 社
1931	岩波講座地理学 地形区(ⅡP.3-84),平地及び台地(ⅢP.1-60) 北米の地理学界概況(ⅣP.19-34)	岩波書店
1936	地 理 学 (秋岡武次郎と共著)	古今書院
1939-41	世界地理 (石田竜次郎,武見芳二と共編著)日本の地形他11項目	河出書房 日本評論社
1940	支那地理大系 自然環境編,編集	地人書館 学芸図書
"	自然地理学 (地形編)(井上修二,岡山俊雄,多田文男,花井重次らと共著)	河出書房
1948	地理概説 (渡辺操と共著)	
1951-52	世界地理大系 (編著)合衆国の自然(4.P.46-60),中国の地形 (6.P.151-168),地形(世界)(1.P.3-52) 南北アメリカの性格(4.P.1-44)	
1953	日本地理新大系 (編著)日本の自然地域区分(1).領域の推移と地域区分の変遷(5)	"
1954	日本航空写真地理 (多田文男と共著)	"
1954-55	日本地名事典 (監 修)	朝倉書店
1955	日本の土地利用 (地理双書)(小笠原義勝,中野尊正,川井玲子と共編)	古今書院
1956	現代地理講座 世界の平野と日本の平野(3P.30-58),世界の寒帯地域 (6P.23-46)	河出書房
"	新地理学講座 海岸地形(3P.283-320),地理調査(8P.185-207)	朝倉書店
1957	現代世界地理全集 (他3名と共編,石田竜次郎,小原敬士,尾鍋輝彦)	河出書房
1961	地 形 学	古今書院
1959-1962	新世界地理 (編著)(1.4.10),自然地域と文化地域(1.P.1-17)東南アジア(4.P.1-37)	朝倉書店
"	日本地誌ゼミナール 日本と東京(1P.1-7)(共編)	大明堂
1967	日本地名事典 (中野尊正,山口恵一郎,式正英と共編)	朝倉書店

報告,展望,その他

発 表 年	題 名	掲 載 誌 名	巻	頁
1937	北海道市町村別人口増加率図に就て(一)(川井丈夫と共著)	地 理 評	5	923-931
1938	米国地理学者の日本研究の内容に就て	地 理 教 育	28	241-251,378-384 979-987
1948	国土の開発に対する考察	地 学 雑	57	26-29
1951	土地利用と土地利用図-その意味と内容-	地 理 調 時 報	11	3-5
1953	第17回国際地理学会議ならびにアメリカ地理協会創立100年祝典に参列して	地 学 雑	62	69-74
1954	明治初年以來の地理学の歩み	地 学 雑	63	176-182
1956	人文地理学の諸問題	地 理	1	113-123
"	地形学の展望	人 文 地 理	8	381-393
1957	Hokkaido(Regional Geography of Japan №1)	Guidebook of I.G.U. Regional Conference in Japan 1957		1-148

1958	国際地理学会議－その経緯と会議の内容－	地 理 調 時 報	22 1-6
1960	日本の地理学の戦後の動向	地 学 雑	69
1966	戦前の地理教育と戦後の地理教育	お茶の水女子大 学文教育学部附 属高等学校研究 紀要	12 1-13
"	太平洋学会議と地理学	地 理	11 7-14
1967	国際地理学連合の活動	地 理	12 6.65-69 7.63-67
1968	General Reports of Symposium 8, the 11 th Pacific Science Congress "Land Classification"	Ochanomizu Univ. Studies in Arts and Culture	21 1-27
1969	第12回国際地理学連合(I.G.U.)総会並び に第21回国際地理学会議報告	地 理 評	42 596-598